R8学科試験に合格する戦略的学習法

1. 学科試験で要注意は計画と設備の足切点への対策

新試験制度となったH21以降では、計画と設備の難易度が高く合格基準点（足切点）に、-1点の補正がかかった。総得点が合格しても足切点で不合格になる方もいるので、この足切点への対策は必須である。

表1　学科試験の合格基準点

※は、難易度により補正（-1点）となった

	Ⅰ計画（20点）	Ⅱ設備（20点）	Ⅲ法規（30点）	Ⅳ構造（30点）	Ⅴ施工（25点）	総得点（125点）	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（%）
平成21年	11	11	16	16	13	97	42,569	8,323	19.6
平成22年	11	11	16	16	13	88	38,476	5,814	15.1
平成23年	11	11	16	16	13	87	32,843	5,171	15.7
平成24年	11	11	16	16	13	94	29,484	5,361	18.2
平成25年	11	11	16	16	13	92	26,801	5,103	19.0
平成26年	11	11	16	16	13	90	25,395	4,653	18.3
平成27年	11	10※	16	16	13	92	25,804	4,806	18.6
平成28年	11	11	16	16	13	90	26,096	4,213	16.1
平成29年	11	11	16	16	13	87	26,923	4,946	18.4
平成30年	11	11	16	16	13	91	25,878	4,742	18.3
令和元年	11	11	16	16	13	97	25,132	5,729	22.8
令和2年	11	10※	16	16	13	88	30,409	6,295	20.7
令和3年	10※	11	16	16	13	87	31,696	4,832	15.2
令和4年	11	11	16	16	13	91	30,007	6,289	21.0
令和5年	11	11	16	16	13	88	28,118	4,562	16.2
令和6年	11	11	16	16	13	92	28,067	6,531	23.3
令和7年	11	11	16	16	13	88	27,489	4,529	16.5

-1点補正

2. R8学科試験で足切点にかからない戦略的学習法（計画）

R8計画試験では、難易度が高くても足切点にかからない戦略的学習法を実施する必要がある。
R3の計画は、作品が6問も出題され高い難易度でした。作品の問題は、学習範囲が広すぎること、一般的建築知識を応用しても解けないことから、一生懸命学習しても正解しずらく、足切点にかかる可能性が高い。この対策としては、過去問学習で点数が取りやすい他の項目（赤枠）を、確実に正解する戦略的な学習が必要である。

表1　Ⅰ計画の項目別一覧表（平成15年～令和4年）

最新（H18～R7）は2025.12頃アップ

NO	年度 / 項目分類	H15（問目）	H16（問目）	H17（問目）	H18（問目）	H19（問目）	H20（問目）	H21（問目）	H22（問目）	H23（問目）	H24（問目）	H25（問目）	H26（問目）	H27（問目）	H28（問目）	H29（問目）	H30（問目）	R1（問目）	R2（問目）	R3（問目）	R4（問目）	出題数（個）	出題確率（%）
1	設計手法							1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	4.0
2	日本建築史作品	24	25	24	25	24		3	2	3		3	2	2	2	2	2	2	2	3		17	4.9
3	西洋建築史作品	25	17	25		25	24		3	2	3	2		3	3	3	3	3			3	18	5.2
4	周辺環境			17				4	5,16	5		5	4	5,6	5,6	5		5,6	6			15	4.3
5	各部寸法	14,15	14,15	14,15	14,15	14,15	13,14	5,6,7	6,7	4,6,7	4,6,7	4,6,7	5,6,7,8	4,7,8	4,7,8	6,7	7,8,14	4,7	5,8	4,5,6,8	4,5,6,8	53	15.3
6	バリアフリー	16	16	16	13	16	15	8	8	8	8	8	9	9	9	8,9	12	9	4,9	9		21	6.1
7	都市計画作品							2	10	9	5	9	3	10	10	4,10	10	11	11	2	2	13	3.8
8	都市計画論		24					9,10	9	10	9,10	10,11	10,11	11	11	11	1	10	10	11	11	19	5.5
9	住宅・集合住宅施設	9,10	10	9,10	10	9	9	11,12	11	12		12	13	13				13	13	12	12	19	5.5
10	住宅・集合住宅作品		9		9,24	10	8		12	11	2,1		2			12,1	13	12		13	13	21	6.1
11	事務所・商業施設	11	11	11	11	11	10	13	13	13						14	5,9		7			18	5.2
12	公共施設	13	12	1		12	11,12	14	14,15	14	14,16		15	15	15	15	4,6,15,16	8,14,17	17	10	10	27	7.8
13	病院・高齢者施設	12		13				15		15	15	15	16	16	16	16		16	16	16	9,16	15	4.3
14	その他作品					13													14,15	14,15,17	17	15	4.3
15	計画各論総合	17	13		16,17	17		4,7		7		7								7	7,14	18	5.2
16	施工監理							18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	14	4.0
17	建築積算							19	19	19	19	19	19	19	19	19	20	19	19	19	19	14	4.0
18	マネジメント						25	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	20	20	20	20	15	4.3
	合計問題数	11	11	11	11	11	11	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	346	100

作品６問

赤枠９項目を確実正解

注1）項目分類は同類問題の名称を示す。H（平成）R（令和）は出題年度を示す。表内数値（1～20）は問題番号を示す。

3. R8学科試験で足切点にかからない戦略的学習法（設備）

最も難易度の高い科目は、過去2回の-1点補正のあった設備である。
設備の問題は、大きく環境工学と設備計画の2種類に分かれるが、難易度が高いのは、その学習範囲が広すぎることにある。一つ一つの項目の覚える知識量が多すぎて、試験まで学習時間が足りない等が最大の理由である。
最も出題の多い項目12空調設備は、毎年3問が出題されるが、この空調設備の問題を分析すると、空気調和設備、換気設備、空調機器などが文章や計算を含め複雑に出題されている。つまり、最も出題数の多い空調設備であっても、その中身は膨大な知識がないと解答できない問題である。他の1問しか出ない5防火、16防災設備なども、たった1点取るために多くの学習が必要となっている。
この対策としては、下表に示すほぼ毎年出題される赤枠内の12項目について、過去問学習を徹底的に、特に繰り返し出題されている内容は、確実に正解する戦略的な学習が必要である。

表2　Ⅱ環境・設備の項目別一覧表（平成17年～令和6年）

NO	項目分類＼年度	H17 (問目)	H18 (問目)	H19 (問目)	H20 (問目)	H21 (問目)	H22 (問目)	H23 (問目)	H24 (問目)	H25 (問目)	H26 (問目)	H27 (問目)	H28 (問目)	H29 (問目)	H30 (問目)	R1 (問目)	R2 (問目)	R3 (問目)	R4 (問目)	R5 (問目)	R6 (問目)	出題数 (個)	出題確率 (%)
1	用語	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	19	5.1
2	室内気候		1				2	2	2	2	2	2								2	2	9	2.4
3	換気	3	3	2	2	2,3	3	3	4	3	3	4	3	3	3	2,3	3	3	3	3	3	22	5.9
4	伝熱	5	2	3	3	4	4	4	3	4	4	3	2,4	2,4	2,4	4	2,4	2,4	2,4	4	4	26	6.9
5	防火		8			5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	17	4.5
6	日照	4	4			6,7			6						6,7	6	6			6	6	22	5.9
7	照明	7	5	5	5		7	7	9	7	7	7	7	7		7	7	7	7	7	7	18	4.8
8	音響	2	6	6	6	8	8	8	7,8	8,9	8,9	9,10	9,10	9,10	9,10	9,10	9,10	9,10	9,10	9,10	9,10	33	8.8
9	色彩	4	7	7		9	9	9		10	10	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	18	4.8
10	環境工学総合	8		8	7	10		10														5	1.3
11	設備用語	18	18	18		※融合問題及び1.用語での出題あり																3	0.8
12	空調設備	19	19	19	17,18	11,12,13	10,11,12	11,12,13	10,11,12	11,12,13	11,12,13	11,12,13	11,12,13	11,12,13	11,12,13	11,12,13	11,12,13	11,12,13	11,12,13	11,12,13	11,12,13	53	14.1
13	給排水設備	20	20	20	19,20	14,15	13,14	14,15	13,14	14,15	14,15	14,15	14,15	14,15	14,15	14,15	14,15	14,15	14,15	14,15	14,15	37	9.9
14	照明設備		21	22	22		15	16	15	16	16	17	16	17		17		17				13	3.5
15	電気設備	21	22	21	21	16,17	16	17	16	17	17	16	17	16	16,17	16	16,17	16	16,17	16,17	16,17	25	6.7
16	防災設備	22				18	17	18	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	4.5
17	搬送設備					19	18	19	18	19		19	19	19								8	2.1
18	建築設備総合	23	23	23	23	20	19,20	20	19,20	20	19,20	20	20	20	19,20	19,20	19,20	19,20	19,20	19,20	19,20	30	8.0
	合　計	14	14	14	14	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	375	100

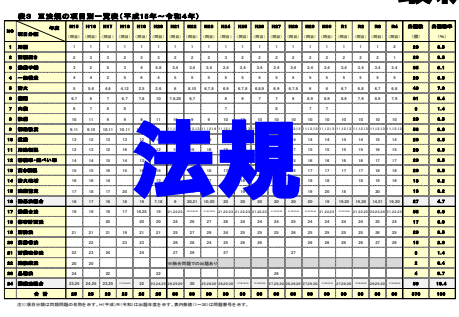
赤枠の12項目を確実に正解

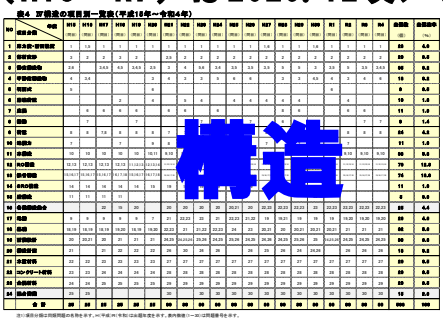
注1）項目分類は同類問題の名称を示す。H（平成）R（令和）は出題年度を示す。表内数値（1～20）は問題番号を示す。

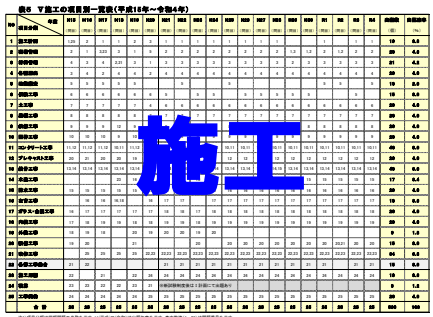
4. R8学科試験で足切点にかからない戦略的学習法（法規・構造・施工）

平成21年以降で-1点補正がなかった他の科目（法規・構造・施工）も戦略的な学習は必要である。
法規は、最も点数が取りやすいので、足切点ではなく、25点を取って学科試験に合格するために学習をする。
構造は、計算問題7点の満点狙いは膨大な学習時間を要するので、計算問題は半分の3点として、他の科目で7割解答を目指すことが望ましい。
施工は、毎年出題される科目を全体的に学習して7割を目指すことが望ましい。

最新（H18～R7）は2025.12頃アップ





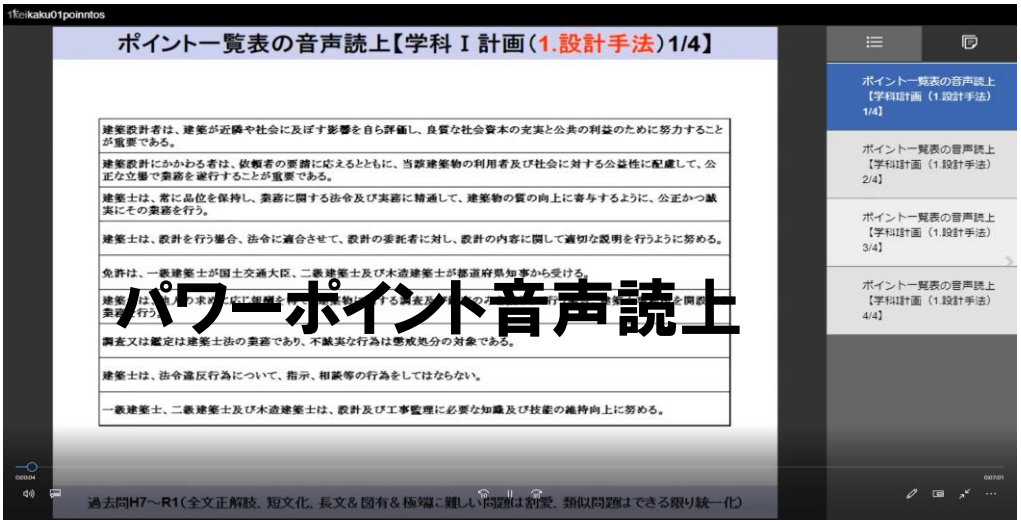


5. 確実に1点ずつを取るための学習法

研究会では、過去問20年を学習すれば100点を超えて合格できるとし「過去問20年一覧表」の学習を推奨していた(現在も推奨中)。ただし、近年の学科試験を踏まえると、単純に全ての問題の過去問20年を学習するのではなく、確実に正解できる項目を集中的に学習する戦略的学習法も取り入れるべきであるとの結論に至りました。
また、多くの受講生から学習する時間が取れないので、通勤電車内で聞きながら学習できる講座や、何時でも何処でも学習できる「パワーポイント音声読上」や「学科YouTube講座」を開設してもらいたいとの意見を受けて、2021年からこの2講座を追加した。下記にそれらも紹介するので、参考にして頂きたい。

(1) 過去問20年分の問題全てを目で見ながら出題傾向等を学習できる過去問20年一覧表
(2) 通勤電車内で過去問20年の箇条書きの正解文を見て聞けるパワーポイント音声読上
(3) 約10分で1項目の重要な内容や出題傾向等がわかる学科YouTube講座

最新R7組込は2026.1から適宜アップ

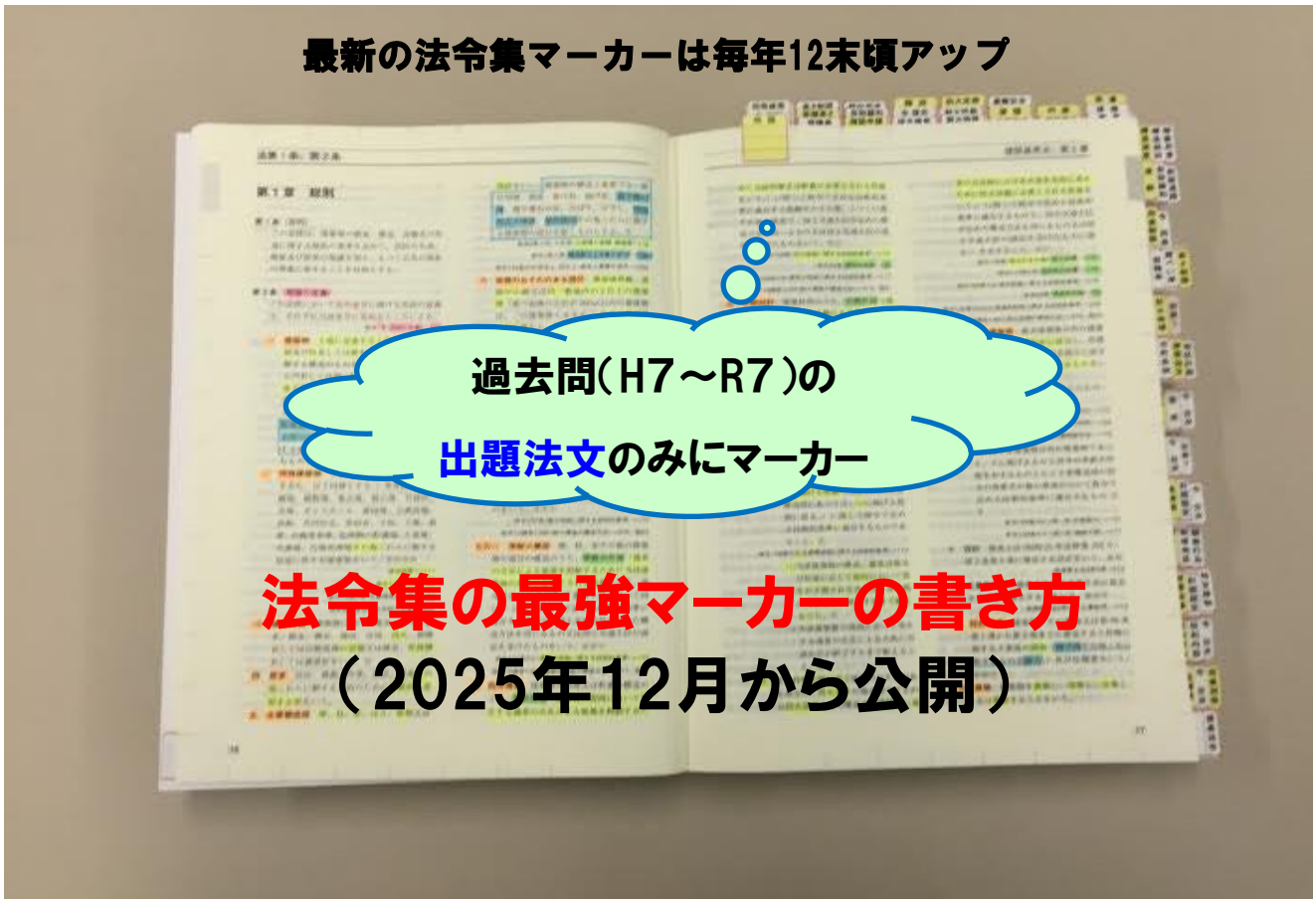


最新(H7～R7)法令集マーカーは2025.12末頃アップ

6. 総合90点が効率よく取れる法規25点合格法

学科試験に効率よく合格するには、コツがあり、その答えは、いかに法規の点数を上げるかに尽きる。
法規は、学習すると急速に点数が向上し、問題が30問と多く、法令集の持ち込みができるので、短期間に最も点数を上げることができる科目である。研究会では、この法規の点数を向上させるため、他の科目にはない、下記2種類の資料を提供している。

(1) 過去問20年分の出題法文の出題確率などが一目瞭然となる出題法文一覧表
(2) 出題法文のみのマーカーで試験にでる法文がわかる法令集の最強マーカーの書き方

最新（H18～R7）は2025.12頃アップ

最新の法令集マーカーは毎年12末頃アップ